「会議録の取扱い(案)について]

会長

これより議題に入る。事前に事務局から第1回目黒区長期計画審議会会議録を送付しているが、修正等あればご連絡いただきたい。無ければ会議終了後、署名し確定したいが、本日十分読み切れない場合は後日でも結構なのでご連絡いただきたい。今後も会議録は審議会開催約1週間前に、開催通知・資料と共に送付する。

[会議中の質疑応答について]

会長

質疑応答については、会議録作成のためマイクを通して発言をお願いする。円滑な会議運営をお願いする。

[長期計画審議会の意見表等についての対応]

区側

(資料により説明(資料2))

[現行の長期計画及び補助計画の構造等について]

区側 (資料により説明(資料3))

委員

資料3別紙2について、10年後の目黒区の姿とは、いつの時点を指すのか。

区側

現行基本計画は平成22年度~平成31年度までの計画であり、平成22年の時 点から見た10年後の姿(2020年頃の姿)を描いたものである。この度、基本計 画の改定にあたり、その上位にあたる基本構想の見直しも必要ではないかという議 論から、この長期計画審議会をスタートしている。基本構想の見通しがたった後、 基本計画を改定していく流れとなっている。

委員

現行基本計画が達成できているかどうかという視点も基本構想の改定に関って くるのか。

区側

そのような考え方もある。現行基本計画の進捗状況は次の資料で説明する。

[基本計画の進捗状況及び基本構想の検証の調査結果について]

区側 (資料により説明(資料4))

委員

基本計画の進捗状況について、計画期間途中でチェックの仕組みなどはあるのか。また今回の総括はどういった部署でどのように確認を行ってきたのか。計画を立てる際の優先順位はどのように考えたのか。

区側

基本計画の重点プロジェクト(数値目標)の進捗管理は毎年行ってきたが、10年間の期間の中で基本計画そのものの見直しは行っていない。今後、長期計画を検討する中で、見直しの時期や手法は重要な課題と捉えている。

また、総括調査の取りまとめは政策企画課で行ってきたが、実際の事業進捗の評価は、事業を担っている各所管課において行った。基本計画は大きな方向性を定めるものであるので、毎年評価し見直しを検討することが難しい側面もあり、現状は10年間の計画としてサイクルを定めているところである。

優先順位については、基本計画の重点プロジェクトとして、事業を選択し数値目標を定め、優先的に取り組む内容としてまとめている。

委員

目標達成のためには、予算的な措置も必要だと思うが、それらを含めた優先順位はどうしているのか。

区側

社会情勢はこれまでも大きく変わっており、例えば待機児童対策などは10年前とは随分事情が異なる。予算はその年に最優先される課題に重点的に配分されるため、基本計画の中で予算をどうつけるかということは定めていない。基本計画は10年間の目指す方向性を示している。

また、基本構想は、もっと抽象的などのようなまちを目指すかということを示したものであり、実施計画は、今後の財政計画を検討した上で、計上されている事業計画であり、このように様々な計画を組み合わせて体系がつくられている。

委員

資料 4-2 で特別養護老人ホーム待機者が減ったのはどういった施策を講じたのか。

区側

本日は計画の全体像についてご議論いただきたい。福祉分野等の個別分野の検討は、今後の審議会において順を追って進めていく場を設けているので、ご理解いただきたい。

福祉分野については、特別養護老人ホーム待機者を減らすことを目標に掲げており、第四中学校跡地、旧第六中学校跡地、目黒三丁目国有地などに特別養護老人ホームを整備支援しているところである。ご質問の件は、調査して、お示しすることとしたい。

委員

資料4-2の重点プロジェクト指標について、区民がそう思う割合などを指標としているものがあるが、これは何を根拠としているのか。

区側

重点プロジェクト指標の区民の認識や行動の割合を問うものは、概ね世論調査の

結果から導いた数値である。数値の根拠については今後整理してお示しする。

委員

総論については、事業の項目数が膨大で全体を把握するのは難しい部分がある。 また観光まちづくりの分野についてもよく見えてこない。例えば目黒通りの桜の シーズン、外国人観光客も増える中で観光バスを止めるスペースもない。どのよう に改善されていくのか。また、桜の保全計画や公衆無線 LAN 整備も進捗している ように感じられない。その他の分野も同様に感じるので、そういったことが分かる 資料をお願いしたい。

区側

目黒における観光行政はここ数年盛んになってきたと感じる。 目黒区観光ビジョン等補助計画を策定しながら進めてきたところである。

今後の審議会の進行においては、観光まちづくりを含め、行政分野別の取組内容 や課題等についてご説明し、議論していただきたいと考えている。

区側

観光バスは、地域に住んでいる方々への配慮も必要である。そして桜のシーズンだけでなく年間を通して目黒に来ていただきたいと考えている。公衆無線 LAN も今年度から整備が始まっているところで、まだまだこれからではあるが、観光行政への取組も進めているところである。

委員

そういった内容も承知してるが、資料として見える化を図ってほしい。

委員

資料4について、基本計画の進捗と基本構想の検証を行った中で、各課において 進捗度を判断したそうだが、政策企画課の総括としてどのようなチェックやレベル 合わせをしたのか。

区側

政策企画課において、各課における調査票を確認し内容の精査は行っているが、 全事業の個別内容を把握できている訳ではないので、評価の難しさを感じたところ である。今後、評価手法についても審議会の中で議論していきたいと考えている。

委員

資料4-3 **Q5** について、現行長期計画の三段階構造を変更すべきであるとした課は、具体的に何を変更しなければならないと言っているのか。職員の意見は、審議会における審議の中でも参考になるものと思うがどうか。

区側

資料4の5頁(5)を参考にしていただきたいが、社会情勢変化に対応するには 内容を簡素化すべきではないかという意見や、実施計画の充実を図るべきではない かという意見があった。意見詳細については、今後整理して提示する。 [新たな長期計画の体系案について] (資料により説明(資料5~6))

区側

委員 そもそも基本構想を話し合う場だと思ってたが、この会議体において、長期計画 の三段階構造が二段階構造になったりすることは有り得るのか。

区側 現時点では、計画体系について三段階構造でなければならないという考え方ではない。従って二段階構造も有り得るとお考えいただきたい。どのような計画体系になるかによって、基本構想の内容やボリュームにも影響してくる。これから基本構想を中心にご議論いただくが、その前提として計画体系も含めてご検討いただきたい。

委員 例えば次回審議会に、計画体系や計画期間について、資料6で他区調査を行っているが、それぞれの体系や期間の良かった点、不都合があった点についてヒアリングして資料として提示していただけると良い。目黒区においても、アンケート結果だけでなく、計画体系や計画期間の目黒区における検証結果を提示して欲しい。

評価に関しては、そもそも何のために基本構想・基本計画・実施計画を作るのか という視点に立たなければ、どちらに評価を導入すべきかという議論にならないと 考える。個人的には実施計画のような具体的事業に対して評価を入れるべきである と考える。

区側 ご要望の資料については、調査などを行い、準備が整った段階で、今後提示させていただく。また、評価については、実施計画だけに入れればいいというものでもなく、それぞれの計画の中で評価の仕組みを持つことが重要であるので、その視点でまとめていくことになる。

委員 20 年の計画期間では、社会情勢変化に対応できないという話があったが、途中 で改正ができる仕組みがあるといいと考える。

会長 計画体系や計画期間、評価については、現時点で決まるものではないので、分野 別の議論等を進めてゆく中で、最終的に全体の話として集約していけると良いと考える。

委員 基本構想の目標年次については、基本構想の内容を加味して決めると良いのでは ないか。 区側

おっしゃるとおりで、基本構想の目標年次は、その内容に大きく影響するものであり、両者を一体として検討していく必要がある。

会長

現行基本構想に期間の定めが無かったことを踏まえ、今回は基本構想に一定の期間をもたせてはどうかということもあるのかと思う。

様々な角度からご指摘をもらうことで、資料も充実し、委員の思考も深化すると 思うので、本日のような活発なご議論をお願いしたい。

委員

この資料を手にした感想だが、生活実感とつながらない部分があり、なかなかイメージがつかめない。もっと現状の生活をイメージできるような資料作りをお願いしたい。

会長

資料作りについて、文字ばかりではなく、グラフや図等を用いてビジュアル化してもらえると良い。

次回の開催は5月30日木曜日、午後6時30分から2時間を予定している。開催通知については別途事務局から送付する。欠席の委員もおり、曜日や開催時間の関係があると思うので、出来るだけ皆さんが集まれるように配慮していきたい。

[閉会]